令和８年　11月13日（金）～11月22日（日）

冬の交通安全市民総ぐるみ運動

ストップ・ザ・交通事故

～めざせ安全で安心な旭川～

【運動の方針】

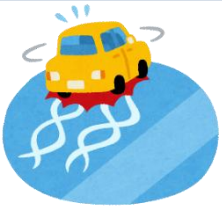
凍結路面でのスリップ事故防止や飲酒運転の根絶を図るための活動等を推進する。



旭川市シンボルキャラクター
あさっぴー

スリップ事故防止！

冬道（積雪・凍結路）では・・・
運転スタイルを「冬型」にチェンジ！





これからの季節、北海道では、積雪・凍結路でのスリップによる事故が多発します。
早めにスタッドレスタイヤを装着することはもちろん、スリップを招きにくい「冬型」の運転を実践して、事故を防止しましょう。

①ゆっくり発進する！

冬道では、発進時にアクセルを踏み過ぎると、タイヤが空回りして、なかなか発進できなくなります。
ブレーキを緩めるだけでゆっくりと前進を始める「クリープ現象」を活用し発進したあと、徐々に加速しましょう。

②同時操作をしない！

ハンドルを操作しながらアクセルやブレーキを踏むと、横滑りやスピンが発生する危険性が高くなります。
アクセルやブレーキの踏み込みを戻してから、ハンドルを操作するようにしましょう。

③ブレーキはソフトに踏む

特に凍結路面では、少しでもブレーキを強く踏み過ぎると、タイヤの回転が止まって滑走し、制動距離が長くなったり、ハンドル操作で進路の修正ができなくなります。
減速や停止をするときは、早めにアクセルを緩め、エンジンブレーキを活用して、徐々にスピードを落としたあと、最後にブレーキをソフトに踏みましょう。

旭川市交通安全広報紙
【発　行】旭川市、旭川市交通安全運動推進委員会、旭川市市民委員会連絡協議会交通部会
【問合せ】旭川市７条通１０丁目　旭川市第二庁舎５階
旭川市防災安全部交通防犯課　　電話２５－６２１５

【回覧】町内会（班）で回覧願います。

みんなで根絶！飲酒運転！

・**年末年始はお酒を飲む機会が増える**
１１月末から年末年始は会社の飲み会やお酒を飲む機会が増えてきます。

・**アルコールは少量でも大きな影響！**
アルコールは、お酒が強い人、弱い人に関わらず、少量でも脳の働きを麻痺させる作用があり、安全運転に必要な「認知・判断・操作」に大きな影響を及ぼします。



・**取り返しのつかない事態に…**
「少しくらいなら大丈夫・・・」その身勝手な思い込みが取り返しのつかない事態を招くかもしれません。

飲酒運転はしない、させない、許さない、
そして、見逃さないようにしましょう。

全席で必ずシートベルトを着用！

・**非着用時の死亡率が高い！**
シートベルト非着用の人が事故で死亡する確率は、着用者と比べると運転席では４０倍以上、助手席では約１０倍、後部座席では３倍以上になります。

・**全身を守るためにも**
事故時に車外に放り出されたり、車内で全身を強打したりすることを防ぐためにも、全席でシートベルトを必ず着用しましょう。

・**子どもも着用！**
身長１５０センチ未満の子どもには、チャイルドシート・ジュニアシートを使用しましょう。



万が一立ち往生してしまったら…



・**後続車に合図を**
車をできるだけ道路の左端に沿って駐車し、ハザードランプの点灯・停止表示機材の設置をすることで後続車に合図します。

・**車内の換気が大切！**
雪が降っているときは車内に排気ガスが入り込むのを防ぐために、定期的にマフラー付近を除雪しましょう。
また窓を少し開けて車内の換気をしましょう。
除雪ができない場合はエンジンを切りましょう。



・**トラブル回避に**
バッテリーが上がってしまうトラブルも多いのでロードサービスを利用することもおすすめします。

・**保険や連絡先の確認を**
冬はスリップによる事故が増えるので自動車保険の内容や連絡先も改めて確認しておきましょう。



雪道の横断について



- **無理な横断は禁物！**
  坂道や、車で踏み固められた場所は滑りやすいです。横断歩道上でも凍結していることが多いため、横断には夏場より時間がかかります。無理な横断はやめましょう。

- **雪山からの飛び出し防止**
  除雪によって通路脇にできた雪山は、子供や小柄な方をドライバーから見えにくくさせます。雪山の陰から急に道路に飛び出すのは非常に危険なため、必ず安全を確認してから横断してください。

- **ハンドサインでストップ運動を実践**
  手を上げるなどをして運転者に横断する意思を明確に伝えましょう。
  横断する前、横断中も、左右の安全をよく確認して車に注意しましょう。
  横断歩道手前で停止した運転者と目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。

- **反射材用品の活用**
  冬は秋よりも日没が早く、さらには吹雪などによる視界不良（ホワイトアウトなど）も発生しやすくなります。ドライバーが発見しやすいように、夕方や夜間・悪天候時は反射材用品を活用したり、明るい色の衣服を着用しましょう。

冬の自転車の安全利用



北海道の条例で「自転車利用者は、冬期においては、その道路状況を考慮して、自転車に適正な器材を装着し、又は自転車の利用を取りやめるよう努力する」と定められています。

- **雪道での自転車走行は事故のリスクが高い**
  雪が積もると道路の凸凹が見えにくくなり、氷が張ることで滑りやすくなります。
  特に朝晩は気温が下がり、路面凍結のリスクが高まるため、普段通りの運転では転倒する可能性が高くなります。
  さらに、車や歩行者からの視認性も低下するため、事故のリスクが高まります。

- **雪道の走行には適切な装備と準備を**
  自転車で雪道を安全に走行するためには、適切な装備と準備が必要です。
  冬用のスパイクタイヤやスタッドレスタイヤに交換し、厚手のグローブや防風性の高いウエアを着用しましょう。
  また、雪が降ったときには、サングラスやゴーグルを使用し、視界を確保しましょう。

- **状況によっては自転車の利用を取りやめましょう**
  それでも雪道での自転車の運転は大変危険です。天候や道路状況によっては自転車の利用を取りやめるようにしましょう。

交通安全アルバム

市内各地域での交通安全の取り組みの一部を御紹介します。



『反射材直接貼り付け活動』
神居中央地区秋まつり(9/5)



旭川商業高等学校定時制旗波啓発(9/15)



秋の交通安全運動決起大会(9/18)



北北海道ダイハツ販売（株）旭川店
健康安全運転講座(9/18)



『反射材直接貼り付け活動』
東豊中央地区敬老祝賀会(9/21)



東旭川地区交通安全協会街頭啓発活動(9/24)

御協力お願いします！

「道路への雪出し」と「路上駐車」はやめましょう！

「道路への雪出し」や「路上駐車」は、道路の除排雪作業や救急車等の緊急車両の通行の妨げになりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

